



やさしく かしく たくましく 明朗 自主 健康 根性

すわのせしあわせ学校便り

諏訪之瀬島小・中学校
令和5年度5月24日号



マルバサツキのように

校長

5月3日（水：憲法記念日）に南風丸に子どもたちや先生方と一緒に乗せていただいて、諏訪之瀬島の西側に群生しているマルバサツキを見に行きました。元浦港から出航してしばらくたって島の側面の断崖にピンクの塊がちらほらと見えたとすると、溶岩が流れ出して固まり、溶岩台地となった場所一面にマルバサツキが咲いていました。2月に乗せていただいて同じ溶岩台地を見た時は、茶色の岩肌しか見えておらず、まさかマルバサツキの群生があるとは全く思っていなかったのでびっくりしました。また、突然、現われたピンク畑の美しさに感動するとともに、自然の雄大さ・素晴らしさに浸ってしまいました。そして、その時にもう一つ目を奪われたことがありました。それは、マルバサツキの生命力の強さです。溶岩台地という植物が育ちにくい過酷な場所に根を張って、可憐な花を咲かせている力強い姿です。

今年度、学校のマルバサツキも多くの花を咲かせました。昨年度は、あまり花が咲かなかったのも、どうしてかなと思っていたら、以前、私の父が「サツキは、花が終わった後に刈り込まないと翌年は花の付きが悪い。」と言ったことを思い出し、5月中旬に生垣バリカンで刈り込みました。それがよかったのか、今年は多くの花を咲かせてくれました。（もしかしたら、今年は花がよく咲く年だったかもしれません・・・）

このように諏訪之瀬島の花木であるマルバサツキは、可憐な花を咲かせると同時に、過酷な環境にも負けない力強い花木であることが分かります。私は、マルバサツキを愛でながら、諏訪之瀬島小・中学校の子どもたちも、マルバサツキのようにどんな過酷な環境でもそれに負けず、しっかりと胸を張って（根を張って）たくましく生きて自己実現を図って（可憐な花を咲かせて）ほしいと思いました。その力を育てるために私たち大人は、適切な時期に、適切な手立てを講じていくことが大切だと思います。そうすれば、子どもたちは、きっと多くの夢を実現させて（花を咲かせて）くれるのではないかと思います。

マルバサツキのように・・・

南風丸の船上で



すわのせつ子 5月コレクション



カーネーション贈呈式

今年度もカーネーションをいただきました。今年で42回目の贈呈となりました。



苗植え

植物の観察や夏～秋の収穫に向けて畑になすびやサツマイモなどの苗を植えました。台風、降灰から守り大切に育てましょう。



スケッチ大会

スケッチ大会は校外で描きたい風景の写真をタブレットで撮影し、その写真をもとに教室で絵を仕上げました。



今年もスイカをいただきました。
みんなでおいしくいただきました。
ありがとうございました。

今年度の役員紹介

PTA役員

PTA会長
PTA副
PTA会計
子ども会会長

前期児童生徒会役員

- ・児童生徒会会長
- ・児童生徒会副会長
- ・総務集会委員長
- ・保健給食委員長
- ・図書広報委員長
- ・生活整美委員長

子ども会

- ・会長
- ・副会長

6月の学校行事予定

※ ○数字は校時です。

- 1日（木）小学校連合集学学習～2日（金）
- 10日（土）トカラ集会
- 20日（火）人権教室（TV会議）小②、中③
- 21日（水）中学校期末テスト～23日
- 27日（火）作文発表会②③
- 30日（金）水泳教室

連休も過ぎましたが、ほとんどの子どもたちは疲れを見せずに学習や活動に励んでいます。日に日に暑さが増す中、早朝から全校で元気よくランニングやボランティアに取り組む、「すわっ子」は、改めて頼もしいなと思います。しかし、どんな時も油断は禁物です。これからも元気に活動できるように、食事や睡眠など、生活リズムを整え、夏の到来に備えましょう。